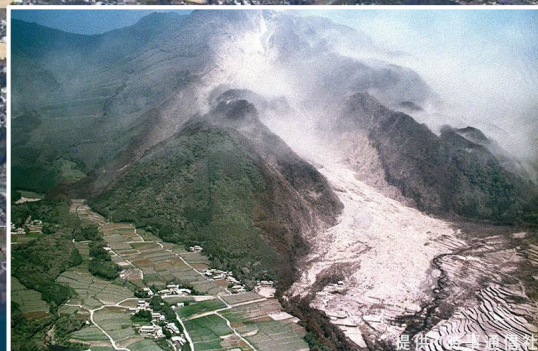


インフラ整備70年 講演会(第29回) ～戦後の代表的な100プロジェクト～

雲仙普賢岳噴火災害復旧・復興砂防事業 —砂防事業による防災都市づくり—

■ 講演プログラム

1. 雲仙普賢岳の平成の噴火活動と取り組んだ対策の概要
2. 砂防事業による「災害に強いまちづくり」
3. 噴火活動の継続中に取り組んだ対策
4. 民間の技術を活用した「無人化施工技術」
5. 掘削土砂を活用した被災地の嵩上げと地域の復興
6. 火山噴火災害からの復興と将来の展望



提供：国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所

提供：時事通信社

- < 講演者 > 森 俊勇 元建設省河川局砂防部火山・土石流対策官
近藤 徹 元建設省河川局長
三木 洋一 元九州地方建設局雲仙復興事務所長(第2代)
古川隆三郎 長崎県島原市長
- < 構成 > 松井 宗廣 元九州地方建設局雲仙復興事務所長(初代)

2022年 **4月22日** (金) 講演会：15:00～17:00 (入室開始予定：14:40～)

場所：ZOOMウェビナーによるWEB配信

定員：1,000名

*本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております。
申込先：<https://www.icca.or.jp/infra70/20220422/>

長崎県島原市にある雲仙普賢岳は、平成2年11月に198年ぶりに噴火し、5年以上に亘り活発な噴火活動を継続して山麓地帯は頻繁に火砕流、土石流による広範な被害を被った。平成3年6月3日に発生した大規模火砕流では、取材中の報道関係者、警戒中の県警機動隊員、消防団員など43名が犠牲となった。この災害を受け、災害対策基本法第63条に基づく「警戒区域」が設定されることとなり、最大約11,000名の住民が長期にわたる避難生活を送ることになった。

建設省（現国土交通省）は、対策の推進を図るため新たに直轄の事務所を設置して取り組むこととしたが、噴火活動が継続したため、民間技術を活用した「無人化施工」により除石や砂防ダム建設工事に取り組んだ。ICT施工の先駆けといっても過言ではない。また、安全な地域づくりに向け、掘削搬出土砂を活用した被災市街地の大規模な嵩上げ工事に地元関係者の協力のもと取り組んだ。

主催：（一社）建設コンサルタンツ協会

後援：（公社）土木学会

インフラ整備70年講演会(第29回)

雲仙普賢岳噴火災害復旧・復興砂防事業

一砂防事業による防災都市づくり

《講演者略歴》

森 俊勇	元建設省河川局砂防部火山・土石流対策官
近藤 徹	元建設省河川局長（技監、水資源開発公団総裁を歴任）
三木 洋一	元九州地方建設局雲仙復興事務所長（第2代）
古川隆三郎	長崎県島原市長

《構成》

松井 宗廣	元九州地方建設局雲仙復興事務所長（初代）
-------	----------------------

講演会 申し込み方法

- 無料（どなたでも申し込みできます）
- お申し込みは、建設コンサルタンツ協会HPより「インフラ整備70年」バナーをクリック頂き、「講演予定」のお申込みページからお願いします。

建設コンサルタンツ協会HP : <https://www.jcca.or.jp/infra70/20220422/>

(注意事項)

- お申し込みは先着順となります。定員に達し次第、締め切らせていただきます。
- 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- ZOOM入室URL（事前登録用）は講演当日の2日前までに送付させていただきます。
- ご提供いただいた個人情報は本講演会のみで使用し、第三者には提供しません。
- 許可なく講演内容の録画・録音による転用等をご遠慮頂きますようお願いいたします。

問合せ先 E-mail : infra70@jcca.or.jp

「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであるとって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、（一社）建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、（一社）建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演記録及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の記録は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

< 次回講演会予定 >

第30回講演会 2022年5月25日(水) 15:00～17:00

「大阪駅改良と大梅田のまちづくり」～逆境を力に変えた民の知恵！公民連携による改良と進化の歴史～

講演者：	梅原 利之	（元 西日本旅客鉄道(株) 鉄道本部長）
	坂田 英洋	（元 西日本旅客鉄道(株) 創造本部 副本部長）
	畑中 克也	（西日本旅客鉄道(株) 建設工事部長）
	岩本 康男	（元 大阪市 計画調整局長）
	篠崎由紀子	（元（一社）関西経済同友会 常任幹事 うめきた・みどり推進委員会 委員長）
	星野 鐘雄	（元 西日本旅客鉄道(株) 建設工事部長）

場 所：ZOOMウェビナーによるライブ配信